



備前市議会だより

第42号 発行/2017. 11. 1 備前市議会 編集/備前市議会だより編集委員会 TEL(0869)64-1803



香登一里塚（香登本）

お も な 内 容

- * 9月定例会のようす 2
- * 審議結果 3～4
- * 各議員の賛否一覧 4
- * 一般質問要旨 4～5
- * 市政課題を質す ～13人が登壇～ 5～11
- * 委員会審査のようす 12～14
- * 議会報告会を終えて 15～16
- * 編集後記 16

この一里塚は旧山陽道沿いに人々の往来の指標となるよう造られ、香登本にその姿を残す備前市指定史跡です。

江戸時代の平穏な時も幕末の激動期の様子も標として人々を見つめてきたこの塚は、今も行き交う人たちを見守っています。

9月定例会の概要

学校給食費の補助関連予算が固まる

第4回定例会は、9月6日に開会され、28日までの23日間の会期で開かれました。開会后、議長、市長の政務報告並びに教育長報告に引き続き、補正予算案、前年度決算案を初め市長から提出された31議案のほか計34案件を上程し審議に入りました。

定例会審議のあらまし

開会日（9月6日）には、市長提出の議案等の提案説明があり、各会計の決算案については、監査委員から監査報告を受けました。

なお、人事案件である人権擁護委員の推薦案は、直ちに採決し、全会一致で適任と認めました。

一般質問は、9月13日、14日、15日の3日間で

実施し、計13議員から市政が抱える課題を質すものや、各議員からの提案に対する議論が行われました。（詳しくは5ページから11ページに掲載）

一般質問終了後、それぞれの議案を各常任委員会に付託することと決め、詳細に審査することとしました。

最終日（9月28日）には、

伊部地区幼保一体型施設整備工事の契約締結案や台風18号関連の災害復旧に係る補正予算案など3件が追加上程されました。これらの案件を含め各委員会で審査された案件が委員長報告され、それぞれ討論に付し、採決しました。

なお、一般会計の前年度決算案は例年に倣って閉会中の継続審査とし、その他の議案はすべて原案のとおり決しました。

委員長報告と議案採決

小中学校児童生徒の給食費に係る補助関連費が含まれていた一般会計補正予算は、予算決算審査委員会で留保された少数意見（6名の連名）の報告と、給食費補助をこれまでの議決どおりとする修正動議が委員会審査時と同様、本会議でも提出されました。

その後、4議員が賛否を表明した討論の末、採決した結果、賛成多数（8対6）で市長提案のとおり原案可決と決しました。

◆平成29年度一般会計補正予算（第2号）中、小中学校の児童生徒給食費の補助関連事業費

◎原案の内容

各家庭の第2子以降の子どもを対象に補助金を支給するもので、第2子は給食費の半額、第3子以降は全額をその保護者に支給する予算額とするもの。予算額は小学校・中学校合わせて計3千700万円で、6月までの既決予算額と比べ

2千537万円を減じるもの。

◎修正動議の内容

子育て支援策として、本年3月、6月定例会で議決したとおり、児童生徒全員に一律半額補助を行うために要する予算額（6千237万円）に戻すもの。

◎討論の要旨

■当初提案された給食費一律完全無償化は行き過ぎだと議会は制度の再構築を求めたわけで、今回の段階的な提案を評価する。

□子育て支援は、まんべんなく公平に全員一律で進めるべきだ。

「すべては子どもたちのために」細かい配慮をする必要がある。

■原案は、持続可能な制度で始め、完全無償化という最終ステージに向けたものだ。予算未執行の事態だけは避けるべきで、支援策を有効に機能させたい。

□一律半額補助が3月に出した議会の決定だ。出生順位で区別すべきものでなく、効果検証もなされない時点での変更は認められない。原点に戻すべきだ。

（編集委員 川崎輝通）

議案等審議結果

予算案（平成29年度補正予算）	付託委員会	議決状況	議決形態
一般会計補正予算（第2号）	予算決算審査	原案可決	賛成多数
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	厚生文教	原案可決	全会一致
土地取得事業特別会計補正予算（第1号）	総務産業	原案可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	厚生文教	原案可決	全会一致
介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	厚生文教	原案可決	全会一致
宅地造成分譲事業特別会計補正予算（第2号）	総務産業	原案可決	全会一致
駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	総務産業	原案可決	全会一致
水道事業会計補正予算（第1号）	総務産業	原案可決	全会一致
下水道事業会計補正予算（第1号）	総務産業	原案可決	全会一致
病院事業会計補正予算（第1号）	厚生文教	原案可決	全会一致
一般会計補正予算（第3号）	予算決算審査	原案可決	全会一致

条例案（改正・廃止）	付託委員会	議決状況	議決形態
市税条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
市営バス運行事業に関する条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
市営駐車場条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
市営住宅条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
保健センター設置条例の廃止	厚生文教	原案可決	全会一致

その他議案・報告	付託委員会	議決状況	議決形態
公の施設（瀬戸内市営バス事業）の区域外設置に関する協議	厚生文教	原案可決	全会一致
人権擁護委員の候補者の推薦	—	適任	全会一致
健全化判断比率及び資金不足比率の報告	—	—	—
専決処分（物損事故損害賠償額の決定及び和解）の報告	—	—	—
平成28年度一般会計、特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書（備監第22号）	—	—	—
平成28年度公営企業会計決算審査意見書（備監第23号）	—	—	—
平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書（備監第24号）	—	—	—
伊部地区幼保一体型施設整備工事の請負契約締結	厚生文教	原案可決	全会一致
専決処分（物損事故の和解並びに物損事故損害賠償額の決定及び和解）の報告	—	—	—
「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定に基づく補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出（発議第2号）	総務産業	原案可決	全会一致

決算案（平成28年度決算案）	付託委員会	議決状況	議決形態
一般会計歳入歳出決算の認定	予算決算審査	継続審査	—
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	厚生文教	認定	全会一致
土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認定	全会一致
三石財産区管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認定	全会一致
三国地区財産区管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認定	全会一致
浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認定	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	厚生文教	認定	全会一致
介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	厚生文教	認定	全会一致
飲料水供給事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認定	全会一致

宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認 定	全 会 一 致
駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認 定	全 会 一 致
企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	総務産業	認 定	全 会 一 致
水道事業会計決算の認定	総務産業	認 定	全 会 一 致
下水道事業会計決算の認定	総務産業	認 定	全 会 一 致
病院事業会計決算の認定	厚生文教	認 定	全 会 一 致

賛否が分かれた案件に対する各議員の賛否一覧

案 件		上 段：会 派 名 下 段：議 員 名		公明党 備前市議団		新志会			至誠会		経民会			びぜんの桜			賛成	反対
		掛谷	森本	立川	石原	星野	尾川	山本恒	守井	西上	山本成	川崎	津島	橋本	田口			
一般会計補正予算 (第2号)	修正案	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	6	8	
	原 案	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	8	6	

【表の見方】

- 「○」は賛成、「×」は反対、「－」は表決に加わっていないことを表します。
記名投票による表決は投票賛否を記載し、起立表決においては着席者を否（反対）とみなす備前市議会の先例に基づいて記載しています。
- は討論を行った議員を示します。

一般質問の要旨

一般質問を行った13人の議員の質問内容は次のとおりです。

発言議員	質 問 内 容	発言議員	質 問 内 容
1 山 本 恒 道	1 防災訓練について 2 熊沢蕃山と閑谷学校について 3 鳥獣被害について 4 教育について 5 職員採用について 6 住宅リフォームについて 7 災害、事故等の報告について 8 伊里漁協駐車場整備について	7 守 井 秀 龍	1 防災対策について 2 財政指標について 3 地域包括支援体制について 4 公共交通について 5 国民健康保険の県への運営移管について
		8 橋 本 逸 夫	1 財政健全化について 2 人口減対策について 3 社会インフラ（上下水道）の整備について
2 山 本 成	1 市政について 2 備前市小中一貫教育基本計画について 3 空き家対策について 4 民泊について	9 川 崎 輝 通	1 ふるさと納税について 2 給食費補助について 3 一般会計の財源について 4 本庁建替えと各課の仮移転について
3 西 上 徳 一	1 子育て支援（プレーパーク）の充実について 2 地域おこし協力隊との連携について 3 「道の駅」の整備について 4 市内観光客の動向について 5 消防団員の安全管理マニュアルについて	10 田 口 健 作	1 美味しい水の供給について 2 観光行政について 3 産業振興について 4 交通安全について 5 福祉について 6 市立3病院について

発言議員	質問内容	発言議員	質問内容
4 尾川 直行	1 地域社会の発展、地域力の向上について 2 文化財保護と日本遺産備前焼の振興について 3 議会報告会でのJR赤穂線の課題解決を 4 備前市図書館、学校司書のあり方 5 防災の日から今後の防災のあり方	11 星野 和也	1 防災・減災について 2 産婦人科について 3 東備港について 4 教育について 5 きれいな街づくりについて
5 石原 和人	1 「市民モニター」制度について 2 子育て支援について 3 河川、ため池の管理について 4 創業支援について 5 香登駅南駐車場と駅周辺整備について	12 掛谷 繁	1 ふるさと納税について 2 観光振興について 3 南海トラフ等の防災対策について 4 地域おこし協力隊について 5 肺がん予防にCT検査導入と補助制度の提案 6 備前市のPRをSNSで強力に発信を
6 森本 洋子	1 就学支援について 2 健康・予防について 3 空き家対策について 4 図書館の充実について	13 立川 茂	1 備前市病院事業改革プランについて 2 平成28年度備前市決算について 3 子育て支援について 4 教育行政について

大規模災害対応の防災訓練のあるべき姿は

至誠会 山本 恒道



問 9月3日開催の防災訓練に参加した。震度6の巨大地震の発生、大津波発生を想定した実践的訓練であった。訓練の率直な感想は、参加住民の動きは活発で、防災対応のプロの動作が少し気になった。市長の感想は、

市長 防災関係者から各自自主防災会の方々は災害時の負傷者救出・救護方法や避難所のベッド・トイレ作成方法等、親切・丁寧に指導いただけた。消防の先輩からみれば物足りないと感じたかもしれないが、残暑厳しい中、各自自主防災会の訓練等が

連携して、気になる児童生徒に協調して取り組んでいる。体罰やいじめが原因で登校しにくい子どもは多い。給食費補助は、対象者は同一世帯で子ども2人以上扶養する保護者等に行う。第2子半額、第3子以降については全額補助を提案している。

熊沢蕃山の両親の墓所の整備は必要と考える。ただ、墓所は文化財指定ではなく整備に係る費用負担は難しい。当面は地元で対応を願いたい。

市長 熊沢蕃山の両親の墓所の整備は必要と考える。ただ、墓所は文化財指定ではなく整備に係る費用負担は難しい。当面は地元で対応を願いたい。

問 今年度の全国学力テスト結果は。また、夏休み明けで2学期から登校しにくい児童生徒がいるのでは。その原因に体罰やいじめはないのか。また、給食費の補助が分かりにくい。

教育長 小中学校ともに平均正答率は、備前市は県平均、国の平均とも上回っていた。2学期初めの登校の様子は概ね良いスタートという報告を受けている。現在、不登校数は小学校で2名、中学校で15名いるが、家庭訪問や教育支援センターへの通所を勧めるなど対応しており、登校支援員と

問 今年度の全国学力テスト結果は。また、夏休み明けで2学期から登校しにくい児童生徒がいるのでは。その原因に体罰やいじめはないのか。また、給食費の補助が分かりにくい。

市長 備前市においても被害額は年々減少している。狩猟者登録数は、平成26年度以降は横ばいで、狩猟者の増加促進に新規免許取得の際に費用の補助制度を設けている。今後も駆除活動を継続し、被害防止に努めたい。

問 8月26日蕃山正楽寺において恒例の「熊沢蕃山を偲ぶ会」が開催され、神戸大学大学院の研究員浅井雅先生から講演があり、遠くは滋賀から参加され、蕃山を偲び、偉業を称えた。当地には蕃山の両親の墓もあり、近年

問 今年度の全国学力テスト結果は。また、夏休み明けで2学期から登校しにくい児童生徒がいるのでは。その原因に体罰やいじめはないのか。また、給食費の補助が分かりにくい。

市長 備前市においても被害額は年々減少している。狩猟者登録数は、平成26年度以降は横ばいで、狩猟者の増加促進に新規免許取得の際に費用の補助制度を設けている。今後も駆除活動を継続し、被害防止に努めたい。

将来を見据えた政策を

経民会 山本

成



地域おこし協力隊との連携

経民会 西上 徳一



人口減少対策について

問 全国的にも少子高齢化・人口減少の問題は、待ったなしの状況であります。今後の人口減少対策についてどのようなお考えが聞きたい。

市長 備前市は、平成27年度に検討された「備前市まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン」に基づき「総合戦略」を策定し、平成32年度を目標に、子育て支援・移住定住・魅力あるまちづくり、教育のまち備前などに取り組んでいるところであります。

備前市土地区画整理事業について

問 浦伊部土地区画整理事業については、昭和49年の都市計画決定から40数年が経過しており、事業は休止されたまま法的制約のみが課せられ現在に至っている。しかし、地域の活性化や定住促進の観点から放置しておくわけにはいきません。現在の状況・今後の対応を

聞きたい。

市長 現在、休止しております伊部・浦伊部土地区画整理事業については、現在、廃止も含め計画変更を行う方向で県と協議中であり、今後、地権者や地元関係者との意見交換や調整を行うこととしております。

子育て支援について

問 ふるさと納税を財源とした子育て支援施策もあるが、ふるさと納税が減ることにより、施策の縮小、廃止などがなされるのではないかと危惧している、どうなのか。

市長 ふるさと納税を財源とした子育て支援施策につきましても、当然、各事業の費用対効果などを検証の上、継続するもの、見直しするものについて判断したいと考えております。

備前市小中一貫教育基本計画について

問 小中一貫教育基本計画の記述の中に、中学校と同一地区内にある伊部

小学校については、中学校との施設一体型をめざしてモデル校とし、施設調査・整備を検討すると記載されているが、そのような方向で推進しているのか。

教育長 伊部小と備前中との施設一体型について可能性を検討するため、昨年度から施設建設案の設計を委託したり、地元自治会と協議しておりましたが、当面は現状の施設分離型の形で小中一貫校を推進してまいります。

空き家対策について

問 備前市でも空き家等対策協議会を設置し、今後、空き家対策について具体的に検討されると思うが、私は行政の関与を強めるべきだと考えるが、どうか。

担当部長 所有者に対し除却の検討や管理の徹底をお願いしている。空き家等対策協議会を開催し、空き家の活用等対策計画を作成していきたいと考えております。

問 受け入れ先と協力して、隊員と市の三者でバランスよく、うまく連携ができないか。

市長 まず、個々の実績報告や面談の機会を持つよう、担当へお願いしているところです。

問 地元との間で問題が生じた場合、市として、どう関わっていくのか。

市長 市として、十分なケアを行うように努めてまいります。

問 情報交換の場を増やすお考えはないか。

市長 隊員と市、隊員と隊員が、お互いに十分なコミュニケーションがとれるような場づくりなどを検討してまいります。

問 隊員の今後の見通しは。

市長 隊員の定住に向け、必要な支援を行います。

子育て支援（プレーパーク）の充実について

問 市内の他地域でも子どもが自由に外遊びができるようプレーパークの普及に対して、市の取り

組みや、団体等への支援が必要と考えるが、市長のお考えは。

市長 育児を頑張っている方々の集いの場として有効な施策であると感じました。支援を今後も充実させてまいります。

道の駅の整備について

問 地域とともにつくる、個性豊かな賑わいの場をコンセプトにした活性化の拠点となる道の駅の建設を早期にお願いしたい。

市長 国土交通省岡山国道事務所からも、備前市内の国道2号沿線に道の駅を検討してほしい旨のお話を伺っており、沿線で適地を探しているところであります。

市内観光客の動向について

問 瀬戸内市と比較した場合、REASASでの分析による宿泊者数の差と岡山県観光動態調査の有料観光施設等の入場者数の差が逆転しているが、どのように分析しているか。

市長 本市は、日帰り、通過型の観光客が多いのに対し、瀬戸内市は大型宿泊施設もあることから団体の宿泊型観光に結び付いており、ギャップが生じていると思います。

問 総合運動公園周辺への合宿施設の整備について、具体的な取り組みは何か。

市長 団体客が見込めるスポーツ合宿や修学旅行の誘致など、市内外のイベントや観光資源も活用した施策を検討してまいります。

問 消防団員の安全管理マニュアルについて

問 津波災害時の消防団員安全管理マニュアルについて、昨年の9月の一般質問で質問しました。市長答弁では、今年度中に策定するように準備をしているとの答弁でありましたが、その後策定されたのか。

市長 策定済みであり、地元消防団にも配布済みです。

地域社会の発展、地域力（地域の幸福を高める能力）の向上に注力すべき

至誠会 尾川 直行



市民モニター、子どもの遊び場、河川・ため池の管理、創業支援、香登駅南駐車場と周辺整備について

新志会 石原 和人



問 地域活性化の組織づくりの取り組みと方法は、荒川区では、地域社会の目標は「幸福」であり、

区民の総幸福度調査、地域力向上、子どもの貧困等のテーマで多岐にわたる分野の専門家や区民が

広く参画し、調査研究し政策提言している。備前市でも職員の総合能力向上、学識経験者による指導は欠かせないと考える。

市長 自治会組織に加えて、地域で活動する各種団体等で構成する地域活性化の組織を立ち上げ、広範な課題や問題を掘り起こし、みんなの課題として解決していく。

問 地域担当職員制度とは、地域担当職員が単なる小間使い、雑用係にならないように、しっかりと役割を明確にすべき。

市長 まちづくり会議にサポーターとして、市と地域のパイプ役として地域づくりのための情報提供並びに助言等を行い、課題の解決に担当課と連

絡調整を行っていく。地域担当職員の選定は、職員の参加を基本的に公募により選定しており、市民協働課地域担当職員として兼務辞令を行う。

日本遺産「備前焼」の振興について

問 今年4月日本遺産に「きつと恋する六古窯」で備前市が代表で認定された。焼き物産地として大きな追い風と捉え、周囲の注目を活力に変える考えは。また、備前市観光振興計画を立てるべき。

市長 備前焼、旧閑谷学校の魅力をうまく融合させ、日本遺産を中心とした観光メニューを作るなど、人やモノの流れをつくり集客と活性化に繋げる。備前焼業界の皆さんの望みをよく聞き支援する。

備前市の文化財の取りまとめと見直しを行うべき

問 産業考古学会では近代建築の保存活用など、近代化遺産保存の重要性を強く訴えています。備

前市の文化遺産の継承保存と文化財の見直しの考えは。

教育長 文化財、文化遺産の取りまとめと見直し、追加などについては、その視点も参考にしつつ、市文化財保護審議会に諮りながら検討する。

図書館は、学校司書の役割、能力向上を

問 作成された「学校図書館司書全校配置に係る成果と課題について」を司書、学校図書館のまとめとして活用、市民に広報すべき。また、市立図書館の建設の状況は。

教育長 学校図書館機能の充実や子どもの読書習慣の確立、先生方の支援のために、全ての学校に図書館司書は必要であると考え。教育委員会としては現在の配置の状況をぜひ維持していきたい。司書の資質能力向上に研修の充実を図る。

「新図書館整備基本構想」策定に向け、プロジェクトチームを設置する。

市民モニターについて

問 インターネット活用による若年層も加えたモニター制度の導入はいいか。

市長 活用を検討する必要があるかもしれない。

子どもの遊び場について

問 今の備前市の子どもを取り巻く環境の中で欠けているのは、親子で安心してしばらく滞在できる居場所ではないか。私自身も、孫が遊びに来た際、赤穂の海浜公園、万富の運動公園、長船の美しい森などに出かけることがあるが、やはり備前市内に「よし、あそこに行こう」と言えるような場所があればと感じる。

市長 立派な公園の整備を求めたものではなく、今ある公園の再検証を求める。現在の子育て支援を工夫すれば財源は捻出できるのではないか。いかがか。

市長 現在、市内には都市公園6カ所、児童遊園地35カ所ある。都市公園は施設整備、機能の充実をめざしていきたい。遊具の点検は年1回行い、修繕等も行っている。

問 久々井や日生の都市公園も内容が寂しい。児童遊園地は片上以西を回ってみた。地域により管理状態は様々だ。3種類ほどの遊具があるだけの公園が多く、せめて日差しを遮る屋根など快適に過ごせる居場所づくりを望むが、いかがか。

市長 そういう課題のためにも、地域担当職員制度は有効ではないか。都市公園の遊具整備も順次進めていきたい。

河川、ため池について

問 各地区からの河川浚せつの要望の現状は。

市長 昨年度では16件だ。

問 残土処分場を模索しているとの答弁が続いているが、その進捗は。

市長 候補地として最上位の地区と協議している。その協議中の最上位処分地は、合意後すぐに供用開始できるのか。

担当部長 合意後に各調査や計画策定もあり、1、2年掛かると思われる。

問 市内のため池の総数と、うち農業用に使われていないため池の数は。

市長 345カ所、使われていないのは166カ所だ。

問 使用されていないため池を浚せつ残土処分場として埋め立てることは考えられないか。

市長 適する池があれば、地域住民と協議し検討していきたい。適地があればお伝えいただきたい。

創業支援について

問 空き店舗活用への補助制度はあるが、空き家の活用や、新設の場合でも、備前で頑張る市民の後押しを進めるべきでは。

市長 検討していきたい。

香登駅南駐車場について

問 ホームまでの通路は、夜間暗く危険だ。ぜひ夜間の状況も考慮したうえで、優先度を見極め、整備を求めるが、いかがか。

市長 照明、駐輪場、駅トイレ整備も含めJＲと協議し進めてまいりたい。

就学支援について

公明党備前市議団 森本

洋子



備前市の防災対策について

経民会 守井

秀龍



備前市の子どもの貧困について

支援教育就学奨励費補助金交付要綱」の改正で、支給対象者に就学予定者

視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 今年6月27日に厚生労働省が2016年の「国民生活基礎調査」を公表。日本の子どもの貧困率は、13.9%。ひとり親世帯の貧困率は、50.8%。母子世帯の82.7%が、「暮らし向きが苦しい」と回答。37.6%は、「貯蓄がない」と回答。備前市の貧困率は。

市長 平成30年4月の入学予定者のうち支給該当者は、小中学校で、それぞれ30人前後と見込んでいる。要保護世帯については、すでに支給している。

問 図書館の充実について

問 9月3日総合防災訓練が久々井の運動公園で開催されました。この訓練を通しての評価と反省点についてお聞きします。

市長 今後ともこのタイムラインに従って避難計画を進め、台風などでは3日前からのタイムスケジュールで実施します。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。

市長 国と同様の貧困率は調査していない。参考として、小中学校の要保護・準要保護の割合は、全体の約13%。本市の実態を把握するため、独自にアンケート調査を実施。児童扶養手当を受給されているひとり親家庭の困り感や生活の実態についての内容で、現在集計中。結果を参考に貧困対策に反映していきたい。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 図書館の充実について

市長 評価については、市民の参加が久々井に1千人、各地区で2千500人と、参加も多く関心が高いことが分かりました。反省点としては、防災行政無線機の同時使用による混雑で通信不能があり、今後改善していきます。

市長 地震時点検ため池として57池を指定しています。そのうち15池を防災重点ため池として指定し調査を実施しています。現在まで7池が終了しており、今年度は4池の調査を実施予定であります。今までのところ早急に改修が必要なため池はない。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。

市長 国と同様の貧困率は調査していない。参考として、小中学校の要保護・準要保護の割合は、全体の約13%。本市の実態を把握するため、独自にアンケート調査を実施。児童扶養手当を受給されているひとり親家庭の困り感や生活の実態についての内容で、現在集計中。結果を参考に貧困対策に反映していきたい。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 図書館の充実について

市長 評価については、市民の参加が久々井に1千人、各地区で2千500人と、参加も多く関心が高いことが分かりました。反省点としては、防災行政無線機の同時使用による混雑で通信不能があり、今後改善していきます。

市長 地震時点検ため池として57池を指定しています。そのうち15池を防災重点ため池として指定し調査を実施しています。現在まで7池が終了しており、今年度は4池の調査を実施予定であります。今までのところ早急に改修が必要なため池はない。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 図書館の充実について

市長 評価については、市民の参加が久々井に1千人、各地区で2千500人と、参加も多く関心が高いことが分かりました。反省点としては、防災行政無線機の同時使用による混雑で通信不能があり、今後改善していきます。

市長 地震時点検ため池として57池を指定しています。そのうち15池を防災重点ため池として指定し調査を実施しています。現在まで7池が終了しており、今年度は4池の調査を実施予定であります。今までのところ早急に改修が必要なため池はない。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 図書館の充実について

市長 評価については、市民の参加が久々井に1千人、各地区で2千500人と、参加も多く関心が高いことが分かりました。反省点としては、防災行政無線機の同時使用による混雑で通信不能があり、今後改善していきます。

市長 地震時点検ため池として57池を指定しています。そのうち15池を防災重点ため池として指定し調査を実施しています。現在まで7池が終了しており、今年度は4池の調査を実施予定であります。今までのところ早急に改修が必要なため池はない。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 図書館の充実について

市長 評価については、市民の参加が久々井に1千人、各地区で2千500人と、参加も多く関心が高いことが分かりました。反省点としては、防災行政無線機の同時使用による混雑で通信不能があり、今後改善していきます。

市長 地震時点検ため池として57池を指定しています。そのうち15池を防災重点ため池として指定し調査を実施しています。現在まで7池が終了しており、今年度は4池の調査を実施予定であります。今までのところ早急に改修が必要なため池はない。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

市長 現在、この216件について、所在地番と所有者を特定。担当が現地にて、建物の劣化状況や周辺への影響度等を再度、外観を目視で調査中。8月末現在で158件の外観目視で調査ができています。うち63件について文書を送付し、このうち、41件は連絡あり、7件は取り壊しが進んでいる。残り34件については、除却の検討や管理の徹底をお願いしている。

問 図書館の充実について

市長 評価については、市民の参加が久々井に1千人、各地区で2千500人と、参加も多く関心が高いことが分かりました。反省点としては、防災行政無線機の同時使用による混雑で通信不能があり、今後改善していきます。

市長 地震時点検ため池として57池を指定しています。そのうち15池を防災重点ため池として指定し調査を実施しています。現在まで7池が終了しており、今年度は4池の調査を実施予定であります。今までのところ早急に改修が必要なため池はない。

問 公共交通について、南北・関谷学校のぞみ線の利用状況及び片上・和気間のバス運行の復活についてお尋ねします。

市長 南北・関谷学校のぞみ線については平成28年4月から1日8便運行で開始し、10月から13便に増便したこともあり、月1千人の利用となっている。他の路線についても高齢者の通院、買物等の日常生活を送るうえで安心して暮らしていけるよう、財政的に耐えられる範囲で進めていきます。



備前市の財政は本当に大丈夫なのか 各種バラマキ事業の見直しを

びぜんの桜

橋本 逸夫



「すべては子供たちのために」義務教育費の 完全無償化を後退させる補正予算は許されない！

経民会

川崎 輝通



問 市では、平成27年度から合併算定替えにより段階的に交付税が減少します。自主財源の市民税は、減少傾向にある。27、28年度はふるさと納税が好調であったため、財政が大きな問題にはならなかったが、これからふるさと納税が激減する。前市長の各種バラマキ事業を実施していても市の財政は大丈夫なのか。

市長 市の財政状況は、早期に改善に向けた取り組みを行わなければ健全財政を維持することは困難だ。各事業を随時見直していく。

ふるさと納税の返礼品見直しの影響は

問 総務省の通達に従い返礼品を8月から大幅に見直したが、その後でふるさと納税額はどのように推移したのか。

市長 本年7月末までの駆け込み申し込み分は13億3千万円ほどだが、8月に入っても7月末までに申し込んだ金額が入金

になっているので、この金額はもっと増える。また、返礼品見直し後の8月分の金額は、2千400万円ほどだ。

新庁舎建設で市の財政負担はどれくらいか

問 当初の事業費は約30億円で検討に入り、一時期は47億円に跳ね上がり、今は43億円弱となっている。その財源内訳は、国庫支出金が8千600万円、合併特例債が34億6千400万円、一般財源が6億6千500万円です。合併特例債の償還金の70%は交付税措置をされ、17億420万円が市の負担になる計算だが、額面通りに受け取っているのか。

市長 合併特例債償還に伴う市の実質負担については合併特例債の元利償還金の70%が基準財政需要額に算入されるものの、そこから基準財政収入額との差額が交付されるため、単純に合併特例債の元利償還金の30%が市の負担というわけではない。

人口減対策について
問 多くの市民が訴えている問題だ。交通の不便さが人口流失を生んでいる。JRの利用促進で増便を訴えたり、交通の不便さを解消するための施策を検討しては。また、婚活事業にもっと予算を割いて大々的に行っているのか。

市長 利用者を増やすことが最も重要だ。様々な施策を検討したい。また、JRに理解と協力を要望していきたい。婚活事業については、若い職員の意見を参考に検討していく。

上下水道の管理について
問 昨年の市役所前の水道管破裂事故や日生の水道管の破断事故などを再び起こさないよう人的・物的体制を整えるべきではないか。

市長 上下水道管渠の老朽化診断を実施し、優先順位を決めて計画的に整備していく。

ふるさと納税の返礼品の変更は、改善ではなく改悪ではないか

問 8月2日までに廃止した10万円以上の高額返礼品と追加の品物は何か。

市長 廃止は、家電・家具・時計・カメラ・電動自転車など65品目です。追加品目は、寝具（フランスベット羽毛布団）、備前焼・クロコダイル財布・アウトドアセット・ピザ窯キットなど28品目です。企業版ふるさと納税の昨年度実績は60万円、本年度は5社と交渉しており、目標額は520万円です。

小学校・中学校の給食費の5割補助はすべての子どもへ
問 児童生徒全員への5割補助は、3月議会で承認しており、半年間も執行しないのは議会議決を無視する行為です。昨年の繰越金は1億7千637万円あり、予備費は5千182万円の増額となっており、給食費補助金だけを敵視

した減額は、国の義務教育無償化の方向に逆らう後退です。市長の施政方針「無料化が望ましい」とも矛盾します。

市長 今もって当初議決予算を実施していないのは、ふるさと納税の見直しや財政状況の変化を考慮して持続可能な制度へ見直したからです。

また、市内世帯状況、小学1年から22歳までの子ども1人あたりの世帯数は、1人世帯が1千166世帯、2人世帯が1千76世帯、3人以上の世帯が370世帯です。

一般会計の財源確保は合併時より余裕あり
問 財政が厳しいとの理由で給食費補助金、6千237万円を3千700万円に減額していますが、この財源は一般財源であり、ふるさと納税とは関係ない自主財源です。他方で住宅リフォーム補助金などは、当初予算の3千600万円から5千900万円増額し9千500万円に大幅に増

やしています。財政が厳しいというのは言い訳であり、余裕があるから増額しているのではないかと市長は子育て支援をしたくないのですか。

市長 8月からのふるさと納税は、見直しにより大幅減少となり、継続事業の安定財源にできません。なお、7月までの寄附額は13億2千655万円で、積立見込額は6億7千500万円です。次に、新庁舎建設後の元利償還額は毎年1億6千600万円であり、架橋の償還額は毎年1億8千300万円です。どちらもその70%が基準財政需要額に算入されます。

本庁建替えまでの各部署の移転について
問 吉永総合支所だけでなく、日生総合支所も活用すれば、職員は広く快適に仕事ができると思いますが。

市長 仮庁舎を設けず、移転も最小限にしており、日生支所への仮移転は計画していない。

みんなで協力・元気なまちをとりもどそう！

びぜんの桜

田口

健作



今後の取り組みについて問う

新志会

星野

和也



問 去る8月5日、頭島地区において水道水から泥水や悪臭が出ましたが、この原因と対策についてお尋ねします。

市長 本土から鹿久居島間の海底送水管が破損したため急きょ架橋内に敷設している管路に切り替え給水を行いました。十分な洗浄を行わず配水を開始したことが原因と考えています。今年度梶谷地区から日生病院まで新しい管を敷設することとしております。

問 伊部地区には国指定の南大窯を初め、幾つもの遺跡がありますが、その道の専門家以外の方には観光の目玉になり得ません。そこで、瀬戸内市で窯を築いて活動されている作家さんの85メートルの登り窯までではなくても、そして場所は別にしても、陶友会の協力をいただき伊部地区内において登り窯を復元されてはいかがでしょうか、観光の目玉となることでし

よう。

市長 登り窯についてですが、備前焼を売るといふ観点から、見て体験できる観光資源としての考えは、大変よいことだと考えますので、登り窯の復元について、陶友会や関係機関と相談・検討してまいります。

問 観光大使の名刺について、岡山県観光大使の名刺は、それ1枚で後楽園・美術館に5名まで入場できます。備前市の大使の名刺も、おまけを追加してはいかがでしょうか。

市長 名刺についてですが、現在、備前焼ミュージアムについては無料、民間であるB I Z E N中南米美術館、F A N美術館については、無料化の方向で進めております。

問 備前市内唯一の研究所である岡山セラミックセンターへの補助金が見るみる減って、今年年額100万円です。お金がな

くては何の研究も出来ません、増やしていただけますか。

市長 本市の耐火物産業の振興・発展に重要な研究・役割を担っていること認識いたしております。しかしながら、同センターは岡山県の指定管理施設であることから、補助金の増額につきましては岡山県等関係機関と協議し、適正な補助金の交付に努めてまいります。

問 県道八木山日生線の八木山から蕃山に南下する道の新幹線高架下付近は死亡事故があったにも関わらず、いまだにスピードを落とさずに走行している車が多いと聞いています。県警と協議し対策をしていただきたいが、まちづくり部長

道路管理者である岡山県に「段差舗装」の改善、「減速」などの路面標示、警戒看板の設置について要望するとともに、交通指導強化を備前署に働きかけてまいります。

まちづくり部長

産婦人科について

問 赤穂市民病院が9月から産婦人科への分娩の受け入れ休止を発表した。3つの公立病院を持ちながら産婦人科を擁していない備前市ですが、この状況をどのように捉え、今後どのように取り組んでいくつもりなのか。

市長 就任後、岡山大学の産科・婦人科教授に市立病院への医師派遣等についてお願いしてまいりました。大変難しい状況とお聞きしましたが、引き続きお願いしてまいります。子育て支援を進める中で「出産」「育児」に係る医療体制をどうしていくのかは重要な課題であり、定住自立圏など広域的な連携の中でも考えていかなければならないものと思っています。

東備港の今後について
問 港湾整備をどのように考え取り組むのか。

市長 粉じんによる環境問題に加え、近年は船舶の大型化により接岸可能

な船が限られ、片上大橋の通過が困難な船も出てきている。さらに、整備後、半世紀が経過し、老朽化も進んでいる。こうしたことから、過去、経済界などで片上大橋の外側へ移転の要望を行ってまいりました。県が事業主体であり、多額の経費を要することから、一朝一夕に解決するものではないが、耐火物原料の輸入港として地場産業活性化のためにも、粘り強く要望を続けてまいりたい。

教育について
問 監査意見書で、経常収支比率の急激な上昇の一因に教育環境の整備等に伴う教育要員の賃金の増加等が指摘されている。ICT機器の更新が迫っているが、適切な選択と集中により、ムダを省き、ALTYや司書の継続配置に向け努力をすべきでは

教育長 ICT機器の更新にあたっては、パソコン教室の存続について学校現場の意見を聞きなが

ら検討するなど、効率的かつ効果的な機器整備を進め、経費の削減に努めたい。そのうえで、ALTYと司書の継続配置については、どちらも念願かなって配置となったばかりであり、成果を挙げているところで、今後も継続していききたい。

タバコの吸殻回収・リサイクルプログラム
問 吸殻の葉と紙の部分はコンポストで肥料に、フィルター部分はペレットになり、ベンチや灰皿、クリアファイルなどの再生プラスチック製品として生まれかわるというものです。まずは公共施設等の吸殻から取り組む考えは。

市長 循環型社会の構築に向けて進めているところであり、清掃活動やイベント時などに取組ができないか、内容や実施方法、導入における諸条件や効果を調査・研究し、検討していききたい。

ら検討するなど、効率的かつ効果的な機器整備を進め、経費の削減に努めたい。そのうえで、ALTYと司書の継続配置については、どちらも念願かなって配置となったばかりであり、成果を挙げているところで、今後も継続していききたい。

備前市の観光振興に全力を！

公明党備前市議団

掛谷

繁

病院事業改革プラン・二十八年年度決算
子育て支援・教育行政について

新志会

立川

茂



問 観光振興条例・振興計画を早期に制定しては。

市長 振興計画の策定は必要であると考えておりますが、その際「よそ者・若者・バカ者」といった方々のほうがより効果的なものができるかと考えている。

問 高梁市は観光戦略・アクションプランを作成して取り組んでいるが、本市も具体的なプランを早期に作るべき。

市長 ぜひその方向でやって行きたい。

問 観光大使について、役割と活動の検証、組織づくり、意見交換会の実施をしてはどうか。

市長 観光は「お国自慢をおすそ分け」ということであり、観光大使には自由にPR活動を行なってもらうことが大切。ただ、備前市についての最低限度の知識やマナーの学習が必要で、活動の検証や意見交換会などを今後検討していきたい。大使の名刺の特典について

は、備前焼ミュージアムや、民間であるBIZEN中南米美術館・FAN美術館について、無料化の方向で進めていく。

問 旧閑谷学校の観光看板（入口）は、もっとよいものに整備を。

市長 旧閑谷学校顕彰保存会の設置ですが、本市の日本遺産であり、もっとよいものとするよう前向きに協議したい。

南海トラフ等の防災対策について

問 防災士の資格人数及び活用方法の今後の方針について聞く。

市長 防災士の有資格者は39人で、平常時は自主防災組織の防災意識の啓発、防災力の向上を、災害時には避難誘導や救助を目的に活躍していただきたいと考えている。

問 災害ボランティアの養成は、地域防災計画の中で取り組むとあるが。

市長 社会福祉協議会と連携し、災害ボランティアの養成は必要なことで

あり、社会福祉協議会を含め関係各位と協議のうえ準備を進めたい。

問 防災ラジオの導入で、安全・安心の確保と情報格差の解消を。

市長 高梁市では高周波数のアナログの防災ラジオを導入して情報伝達を行うと聞いている。ただ、アナログ無線は平成34年11月末で使用できなくなるので、備前市では将来的にデジタル系同報無線の戸別受信機の希望者配布などで情報格差の解消を考えていきます。

情報発信にSNS活用を

問 備前市観光の魅力や子育て支援、教育のまちのPRをSNSで強力に発信すべき。

市長 市の情報発信手段は、広報・ホームページ・フェイスブック・びぜんナビなどがある。最近盛んなインスタグラムの活用も試行を始めているが、さらにスキルアップして、積極的な情報発信を図りたい。

「病院事業改革プラン」について

問 岡山県の第七次保健医療計画に示されている病床削減・機能分化への対応について。

病院事業管理者 現在、県南東部地域医療構想調整会議で検討中、公立病院改革プランも審議予定、病床削減は各地域の実情・ニーズを把握し対応していきます。

問 経営状況改善の具体的対応策は。加えて来年の診療報酬改定（今回は介護報酬改定も同時）を踏まえて経営効率化への見解は。

病院事業管理者 より一層地域の病院、医院やクリニックとの連携を図り経営改善に結びつけたい。また、現状では在宅・入院調整に尽力しており、診療報酬改定情報をいち早く入手し対応したい。

問 国保直診として地域ケア会議や地域包括ケア委員会等地域マネジメントに対する取組は。

病院事業管理者 医師会や医療・介護に携わる多職種による在宅医療・介護連携推進協議会へ積極的に参加し、地域の医療ニーズや病院への希望を伺っており、引き続き地域包括ケアシステムの考えに基づき、地域住民の期待を裏切らない病院事業の運営に取組みます。

問 地元医師会と病院医師との連帯・連携は良好・順調でしょうか。

病院事業管理者 医師会の理事を務めるなど良好であり、今後とも積極的な連携を推進していく。

28年度決算について

問 決算から考察できるポイントは。

市長 ふるさと納税が諸施策に寄与したが、他方で新規事業による経常経費の増加で経常収支比率が大幅に悪化しています。

問 事務局共同設置後、監査委員が初めて行った監査報告で手厳しい指摘を受けているが、見解は。

市長 指摘事項について

は、真摯に受け止め、改めていきたい。

子育て支援について

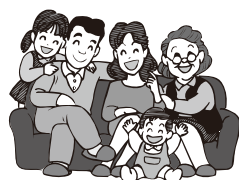
問 いままで、財政的援助が子育て支援の柱であっていいのでしょうか、顔の見える支援の見直しも必要なのは。今後の子育て支援はどの方向に向かうのでしょうか。

市長 子どもと家族に優しい地域づくりが必要で、地域や各分野との連携が鍵となると思う。

教育行政について

問 次期学習指導要領では授業時間数増への対応が求められています。先進地では2週間程度の夏休みの短縮もある。導入の考えは。

教育長 現状で対応は可能、夏休み短縮策は他市の動向を注視している段階です。



総務産業委員会

9月20日、22日に委員会を開催し、前年度の特別会計決算案10件を含む付託議案17件の審査を行いました。その結果、全17議案を全会一致で原案のとおり可決・認定しました。議案等に対する主な委員会審査の様子は次のとおりです。

《主な議案審査の様子》

■議案第73号

駐車場事業特別会計補正予算（第1号）

主に駐車場使用料改定に伴い精算機の設定を変更する手数料15万8千円。日生の病院跡地駐車場内にコンビニエンスストアの建設により発生した下水道受益者負担金29万4千円を計上するもの。

■議案第79号

市営駐車場条例の一部改正

この条例改正案は、香登駅南、頭島A、頭島B、吉永駅前の一般駐車料金を24時間まで1回当たり400円から100円に。吉永駅前の定期駐車料金を1箇月4千100円

から2千600円に改定し、周辺の駐車場との料金格差をなくし利用促進を図るため、規定を整備するもの。平成29年10月から施行。

委員からは、本会議初日に備前市監査委員から、香登駅南の駐車場について、低調な利用状況に、市は広報に努め、月極等の料金体系を導入するなど利用料金の確保に努め、取組を通じて改善しない場合には、存続そのものを検討する必要があるとの指摘をするなど執行部の考え方について質しました。執行部からは、監査の指摘もあるが、せっかく作ったもので、多くの方に利用していただきたいということ、まずは料金の値下げをその対策としたいとの答弁がありました。

《各特別会計の前年度決算の認定》

各特別会計決算案の主な審査内容は次のとおりです。

■議案第93号

企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定

委員からは、企業誘致等に関して、できるだけ情報提供をしてもらいたいとの意見がありました。

■議案第94号

水道事業会計決算の認定

委員から、水系別の有収率が質しました。

■議案第95号

下水道事業会計決算の認定

これまでと同様に下水道への接続を啓蒙していくとの考えが示されました。

《報告事項》

■台風第18号について

9月17日、18日にかけて備前市を通過した台風18号に対する対応体制、気象状況や被災状況、避難所の収容人数等の報告がありました。

《所管事務調査》

■県への要望について

県へは、地元要望を一覧にして、年度初めに提出している。今年度は、道路、河川等69カ所を位置図と現況写真を付けている。県からの回答を市職員が県担当者とはやり取りを行っている。浚せつに関しては、残土の処分場の確保を行なえば、進めていくとの回答をもらっているとの答弁がありました。

《陳情審査》

議会運営委員会から参考送付された陳情を総務産業

委員会が特に必要を認めて審査したもの。

■陳情第48号

東備港明石公共埠頭の移転についての要望

備前商工会議所を初め、業界団体からの要望書。要望の趣旨は、東備港明石公共埠頭が小規模な施設で高潮での冠水も多くあり、建設後、50年近くになり老朽化が進んでいる。入港船の大型化で満潮時を利用しての入港等、港湾作業において非効率となっており、建設移転を市・県・国へ要望する事について市議会の力添えを要望するもの。

要望事項は、①粉じん問題を考慮し近くに民家のない適所移転。②最低限積載5千トンの船が4隻接岸できる長さ、それに適応する水深7.5m以上の港の建設。

委員からは、現在の入港船の現状、移転先の位置、港周辺・航路の水深、港までの道路整備、市の建設費負担などについて質しました。執行部からは、中国からの船が大型化し、航路は毎年、県が浚せつを行い水深5.5mとしているが、水深が浅く、大型船は満潮時を利用して入港している現状。

片上大橋が障害になるため、橋の東側に移転を要望。港湾規模が大きくなれば、現在の耐火物関係だけでなく、ほかの荷も利用できるもの、答弁がありました。

審査の結果、今後、要望事項に添った活動を行うに当たり、市と議会が要望書に連名して要望活動を行っていくことを委員一致で決定しました。

■陳情第52号

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出

意見書の趣旨は、平成29年度末をもって補助率等の高上げ措置が期限を迎える道路財特法について、今後とも道路整備財源を安定的に確保する必要性から高上げ措置の継続、拡充を要望するもの。提出先は、国土交通省、財務省等。

委員から異議はなく、意見書案文を正副委員長に一任し、議会最終日に委員会から発議を行うことに委員一致で決定しました。

（委員長 山本恒道）

厚生文教委員会

9月19日、21日及び28日に委員会を開催し、付託を受けた13議案を慎重に審査しました。28日に審査した伊部地区幼保一体型施設整備工事契約案も可決し、全議案を全会一致で、可決・認定しました。

また、厚生文教委員会の所管事項である「総合運動公園（久々井）の多目的競技場第3種公認に要した工事概要」や「小・中学校全国学力学習状況調査」など執行部の報告を受けながら調査研究しました。

《主な議案の審査の様子》

■議案第76号

病院事業会計補正予算（第1号）

委員から、今回計上されている企業債の繰上げ償還金1千620万円についてが質され、借入時の事務齟齬（そご）によるもので、病院側に違約金等の不利益はなかったが、今後、財政当局との連絡調整を密にして再発防止に努めるとの答弁がなされました。

■議案第83号

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定（前年度決算）

保険給付費の一般分・退職分の不用額が多い点についての指摘に対し平成27年度（前々年度）の実績を基にした伸びを見込んでいたが、薬価引き下げ等の影響もあり、見込みほどの医療費とはならなかったと報告されました。ただ、被保険者数の減はあるが、医療費自体の単価アップの傾向が見られ、市民の受診状況や国の診療報酬改定の動きなどを引き続き注視していくとの答弁がありました。

■議案第89号

介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定（前年度決算）

委員からは、介護保険制度そのものについて、認定基準の厳格化によるなどして、利用したくともできない状況があるのではないかと、介護度判定にきめ細やかな調査が求められるとの指摘があり、執行部からは、適正な介護度判定、介護サービス提供ができるよう努め、市民の信頼に応えたいとされました。

■議案第99号

伊部地区幼保一体型施設整備工事の請負契約締結

伊部地区内（現在の殿土井保育園・伊部幼稚園の所在地）に幼保一体型施設（こども園）を、（株）重藤組・東備建設（株）建設工事共同企業体と7億1千150万4千円で新築工事の請負契約を締結するもの。

・園舎等床面積 2千90㎡
・完成 平成31年3月31日



伊部地区に新設される幼保一体型施設（こども園）完成予想図

■報告事項

総合運動公園多目的競技場改修工事

備前市久々井の多目的競技場の第3種公認に必要な改修工事を行ったもので、9月25日に完了したと報告されました。改修工事は約1億1千110万円。

公認記録として認められる競技場で、記録会運営など審判員も確保されている県下でも数少ないものであることを自負して、施設運営に当たってほしいとの意見が出されました。

■平成29年度全国学力・学習状況調査結果

4月に実施された全国一斉学力テストを備前市の小6生と中3生のほぼ全員が受検し、国語・算数（数学）の2教科平均では、小学生も中学生も全国平均、県平均を上回った結果であったと報告されました。数値に一喜一憂することなく、たくましく生きる人になるよう教育を進めてほしいとの意見が出されました。

・2教科平均値

小学校 64・8（64・5）
中学校 65・8（64・8）

（ ）内は県平均
（委員長 掛谷 繁）

予算決算 審査委員会

今回の定例会で審査した議案は、9月15日に付託された平成29年度の一般会計補正予算(第2号)、平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定(前年度決算案)と最終日に追加上程された一般会計補正予算(第3号)の3件でありました。

26日、市の各部門ごとに各部課長から説明を受けながら詳細な審査を行いました。委員会採決では、委員提出の修正案を採決し、賛成少数(6対8)で、これを否とし、原案どおり可決しました。その後、委員からの少数意見を留保し、本会議に報告することとしました。

前年度決算案については、継続審査となりました。

なお、28日には、台風災害復旧費や急きょ行われた衆議院議員選挙関連費を計上した補正予算を全会一致で可決しました。

《議案審査の主な内容》

■議案第67号

一般会計補正予算

(第2号)

委員会で、賛否が大きく分かれたのは、3月定例会、6月定例会でも議論となった小・中学校の児童生徒の学校給食費に対する補助に係る予算を巡るものであります。

3月には、給食費を全員一律無償化する予算を議会が半額相当に修正し、6月では、それを第2子以降に対象を絞って2分の1の補助とする市長提案を、3月議決どおり半額相当額にする

と修正していました。この補正予算で提案されていたのは、第2子は2分の1の補助とし、第3子以降は全額補助とするもので、委員会審査は、3月議決どおり全員に一律半額補助するか、今回提案された原案とするかに焦点を当てた議論となりました。

《委員会での審査意見》

- ・子ども1人世帯こそ支援するべき。
- ・第1子と第2子以降を分断するのはおかしい。
- ・執行もせず変更するのは議会の議決権の軽視となる。
- ・あくまで給食費無償化の

通過点となる施策だ。

《留保された少数意見》

委員会で留保され、本会議に報告された少数意見の主旨は次のとおり。

3月に修正可決された当初予算が執行されることなく、二元代表制の議決機関である議会が議決した予算を補正することは、議会軽視と言わざるを得ない。議会議決の重みを深く受け止めるべきだ。

第1子のみの家庭には、何らの対策も施されておらず、教育における機会均等など平等性に欠ける補助となっている点は問題だ。

《その他の議案審査の内容》

■まちづくり応援基金繰入金(1億5千800万円減)

特別措置していた保育や学校教育の講師等の増員人件費の財源をふるさと納税から一般財源に振り替えるもの。

■離島住民定期船舶利用補助金(167万2千円)

離島航路船賃を市営バスと同等(200円)にするための補助金。

鴻島、大多府島の方に島民カードを配付し、実績値によって運航事業者に補助していくと答弁されました。

■農地費・耐震診断調査委託料(500万円)

吉永町内の城ヶ畑下池の耐震改修工事に向けたボーリング調査費。

貯水量も多い大きなため池で、経済的かつ安心できる改修工事となるように計画的に進めるとされました。

■住宅リフォーム助成地域振興券交付事業補助金(5千900万円)

一般住宅のリフォーム費用を地域振興券で補助するもので、要望等を勘案して増額するもので、財源はふるさと納税。

住宅耐震化に繋がるものとしていくよう監査委員からも指摘があり、今後、制度の見直しを検討していくとの方向が示されました。

■道路新設改良費・手数料(13万円)

伊里駅前のロータリー等整備に係る不動産鑑定料。このほど、JRと用地買収等の協議が進む見込みとなったことから計上されたものと答弁されました。(委員長 橋本逸夫)

次期定例会 の日程

◆11月29日(水)
開会
諸般の報告
議案上程

◆12月6日(水)
一般質問

◆12月7日(木)
一般質問

◆12月8日(金)
一般質問・議案質疑

◆12月11日(月)
14日(木)
総務産業委員会
厚生文教委員会

◆12月18日(月)
予算決算審査委員会

◆12月20日(水)
委員長報告・議案採決
閉会

※予定は変更される場合があります。

詳しくは議会事務局まで

☎0869-64-1803

傍聴にお越しく下さい

備前市議会報告会



【上下水道について】

Q：上水道は今後の更新率1.7%とのことだが。**A**：上水道の更新は、料金や耐用年数を勘案して60年で毎年4億円程度の事業費で、箇所選定しながら計画的な更新としていく。

【子育て支援について】

Q：手厚い子育て支援は市外には知られていない。また、働く場所、商店や行く所がないと暮らしやすくないと思うが。**A**：商業支援や雇用、創業支援も総合的に考える必要がある。

【その他】

Q：生活利便性を高めるJR赤穂線の増便は。**A**：イコカ設置や増便を重ねて要請してしている。市民にも協力願って引き続き活動していく。

Q：ふるさと納税激減でどのような影響があるのか。**A**：基金積立があるが、市として事業の見直しは避けられないと思う。

Q：旧アルファビゼン盗難事件の件はどうか。**A**：百条委員会として努力を続けているが、議会が行う調査には捜査権はなく、なかなか進展できていない。

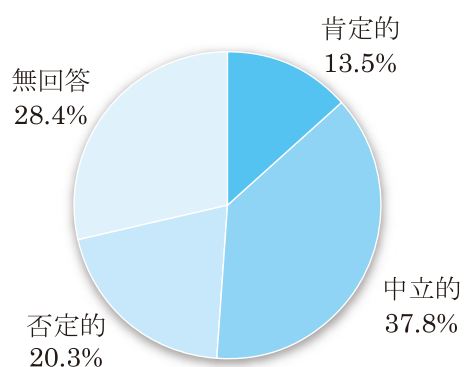
報告会を終えて

■**報告会であったご意見・ご提言**は、市の担当部署に伝えていくほか、各議員が議会の中で政策・施策として考えながら市執行部に質していくことになりますが、報告会で市民からいただいたご意見等やご提言のうち個別事項については、所管委員会で協議検討していくように考えられています。

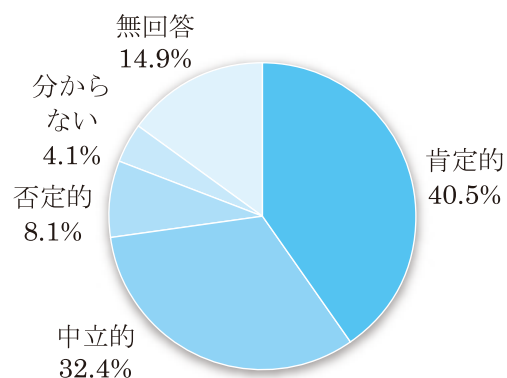
■**報告会実績報告書**は、参加議員自身に取りまとめ、報告会実績報告書として市のホームページで全文を公開しています。 <http://www.city.bizen.okayama.jp/> から備前市議会ページへ

■**参加者アンケート**は、報告会で参加いただいた方にアンケート調査をお願いしたものです。結果の一部をご紹介しますと、「報告会の時期や時間帯」はまずまずだが、「内容や進行方法」には工夫を要すると参加いただいた方からの回答を得ています。

報告会 内容&進行



報告会 時期&時間

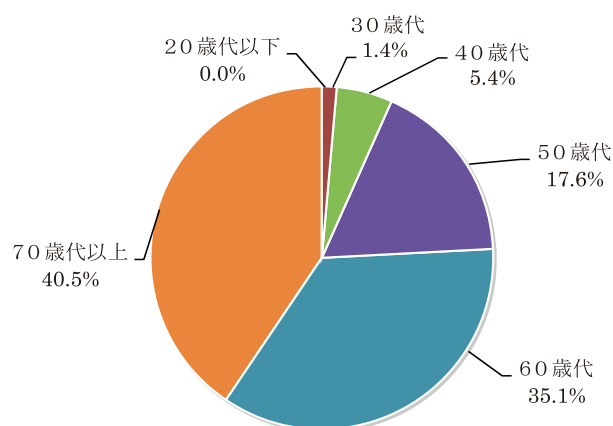


備前市議会報告会を開催しました

平成29年度備前市議会報告会は、8月23日から26日までの4日間、市内4会場で開催いたしました。4会場ともに、①上下水道、②子育て支援についてを報告事項とし、昨年度に引き続き、参加者との意見交換を充実する意見交換の場を拡充したものとしました。



○アンケート調査分析



議会報告会参加者の年代

今年で5年目を迎えた議会報告会は、例年のとおり、備前（伊部、西片上）、吉永、日生の4会場で開催しました。ご参加いただいた方々を初め皆様に心から感謝申し上げます。

今回、30代40代の参加者が増えた一方、全参加者数は91名で昨年度より微減となりました。報告会の模様は15頁でお知らせしています。

開催後、議会内では、開催方式や内容を改め、報告会をよりよい形にしていこう、議会改革の一環として取り組む協議が行われました。



備前市議会のホームページへは <http://www.city.bizen.okayama.jp/> から

編集後記

暑い暑い夏が過ぎ、秋の訪れが足早にやって来ました。

9月議会では小中学生の給食費補助制度が議論の中心であり、ようやく結論が出ました。小中学生の内、第2子目から2分の1、第3子目以降は無償となりました。議会として今後も、子育て支援に力を入れ、若い人が住んでもらえるよう、魅力ある街にしていきたいと考えています。

（編集委員 掛谷 繁）



この議会だよりは再生紙を使用し、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。